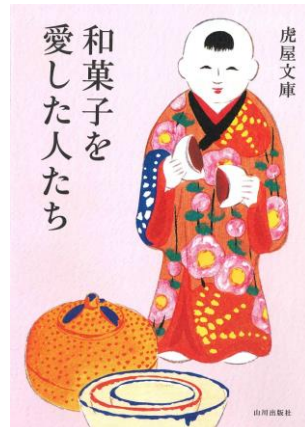


書籍刊行のお知らせ

虎屋文庫『和菓子を愛した人たち』

2017 年 5 月 31 日発行 四六判／304 頁／1,944 円(税込)



表紙

饅頭喰人形(川崎巨泉・画)

この度、平成 12 年(2000)より、虎屋文庫がとらやホームページで連載してきたコラム「歴史上の人物と和菓子」をもとに 100 人を選び、大幅に加筆・修正した書籍を刊行いたしました。

菓子の写真も豊富に掲載したオールカラーの一冊で、全 9 章からなり、どこから読んでも楽しんでいただける内容となっております。一人ひとりの逸話を通して、いつの世も人の心を和ませる和菓子の魅力をお伝えできましたら嬉しく思います。

【構成】

第 1 章 文学の名脇役

紫式部と椿餅/松尾芭蕉と「ところてん」/宮沢賢治と団子/谷崎潤一郎と羊羹……他 7 話

第 2 章 あの人の逸話

源頼朝と矢口餅/明智光秀と粽/坂本龍馬とカステラ・金平糖/高杉晋作と越乃雪……他 10 話

第 3 章 心が通う贈り物

清少納言と餅饅頭/織田信長と金平糖/頼山陽と小倉野/ペリーと接待菓子……他 9 話

第 4 章 徳川将軍をめぐる人々

徳川家康と嘉定菓子/春日局と御膳代餅/徳川吉宗と安倍川餅・桜餅/和宮と月見饅頭……他 3 話

第 5 章 江戸の楽しみ

大岡忠相と幾世餅/紀伊国屋文左衛門と饅頭/笠森お仙と団子/中村仲蔵と串団子……他 7 話

第 6 章 旅で出会う

紀貫之と糰餅/滝沢馬琴と大仏餅/前田利徳と辻占昆布/内田 百 閒と故郷の菓子……他 7 話

第 7 章 我、菓子を愛す

徳川治宝と自慢の落雁/近衛内前と蓬が嶋/良寛と白雪糕/芥川龍之介と汁粉……他 9 話

第8章 茶人の口福

千利休とふの焼/小堀遠州と十団子/井伊直弼と千歳鯨^{ます だ どんのう}/益田鈍翁と桧扇形の菓子……他 4 話

第9章 思い出は永遠に

モースと文字焼/森鷗外と饅頭茶漬け/中勘助と駄菓子/森茉莉と有平糖……他 8 話

【内容紹介】

平安時代から現代に至る、将軍、公家、大名、文人、作家など 100 人の歴史上の人物と菓子に関する逸話を掲載しており、そのうちのいくつかをご紹介します。

徳川光圀^{とくがわみつくに}と福寿饅頭^{ふくじゅまんじゅう} ～友人の古稀祝いは盛大に～

水戸黄門の名でおなじみの徳川光圀が、親交のあった公家^{なかのいん}の中院通茂^{なかつげ}の古稀(70 歳)の祝い用に、虎屋に紅で「福寿」と書いた饅頭 100 個を注文しました。この饅頭は、通茂の年齢に合わせて重さを 70 匁(約 260g)にしてあり、相手を喜ばせようと工夫を凝らす光圀の意気込みが感じられます。



ハリスが感動した日本の菓子 ～土産にできないのが残念！～

幕末、日本との通商条約の締結を求めて江戸にやってきたハリスには、十三代将軍・徳川家定から、豪華な日本の菓子が贈られました。幕府御用菓子屋が製造したもので、大金が費やされたのだとか。桧の四段重にぎっしり詰められた色とりどりの菓子を見たハリスは、その感激を日記に記しています。

樋口一葉と汁粉 ～身も心も温めた雪の日のご馳走～

明治時代の女流作家・樋口一葉。貧困に苦しみ、肺結核のため、わずか 24 歳でこの世を去りました。そんな薄幸な一葉が密かな恋心を抱いていた相手は、小説の指導をしてくれていた年上の男性。ある雪の日、彼の家を訪れた一葉は、手製の汁粉を振舞われ、その思い出を深く胸に刻むのでした。

【購入方法】

全国の書店、インターネット書店にてご注文ください。

なお、下記の直営店でも販売しています。

東京：東京ミッドタウン店・東急プラザ赤坂店・元赤坂一丁目店・銀座店・帝国ホテル店・

日本橋店・TORAYA TOKYO

中部：御殿場店

京都：京都一条店・虎屋菓寮 京都一条店・京都四条店

※虎屋文庫での販売はございません。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-9 赤坂 MK ビル2階

株式会社 虎屋 虎屋文庫

電話 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561

E-mail bunko@toraya-group.co.jp URL www.toraya-group.co.jp/toraya/bunko/